

沖縄市障害者相談支援事業委託業務応募要領

1 次評価要領

1 評価基準

評価の項目、配点及び基準は、別紙【1次審査評価基準】による。

2 評価の方法

(1) 「令和3年度沖縄市障害者相談支援事業委託業務応募要領」（以下、「応募要領」という。）に基づく参加資格を有すると認められた者（以下、「参加有資格者」という。）を対象に、事務局による1次評価（書類評価）を行い、選定委員会へ報告する。

(2) 業者選定に関して協議が必要な場合は、選定委員会を開催することとする。

3 評価の日程等

1次評価（事務局による審査）

令和4年1月28日（金）～令和4年2月上旬の実施を予定。

別紙

【1次審査評価基準】50点満点

| 評価項目 | 評価基準 | 評価の視点・基準点 | | | | |
|---------------|--|----------------------------------|------------------|--------------------------|----------------|--------------|
| | | 5点 | 4点 | 3点 | 2点 | 1点 |
| 業務実施人員の保有資格 | 仕様書「4 委託条件(4)」に該当する職員の保有資格について(様式5の連番①) | 社会福祉士 精神保健福祉士 保健師 公認心理師 | — | 社会福祉主事 認定心理士 介護福祉士 | — | その他福祉に関する資格者 |
| | 仕様書「4 委託条件(4)」に該当しない職員の保有資格(様式5の連番②) | 社会福祉士 精神保健福祉士 保健師 公認心理師 | — | 社会福祉主事 認定心理士 介護福祉士 | — | その他福祉に関する資格者 |
| | 仕様書「4 委託条件(4)」に該当しない職員の保有資格(様式5の連番③) ※兼務職員の場合、③と④の基準点の平均とする | 社会福祉士 精神保健福祉士 保健師 公認心理師 | — | 社会福祉主事 認定心理士 介護福祉士 | — | その他福祉に関する資格者 |
| 業務実施人員の業務継続年数 | 仕様書「4 委託条件(4)」に該当する職員の障害福祉実務経験年数(様式5の連番①) | 経験12年以上 | 経験10年以上 12年未満 | 経験8年以上 10年未満 | 経験6年以上 8年未満 | 経験6年未満 |
| | 仕様書「4 委託条件(4)」に該当しない職員の障害福祉実務経験年数(様式5の連番②) | 経験8年以上 | 経験6年以上 8年未満 | 経験4年以上 6年未満 | 経験2年以上 4年未満 | 経験2年未満 |
| | 仕様書「4 委託条件(4)」に該当しない職員の障害福祉実務経験年数(様式5の連番③) ※兼務職員の場合、③と④の基準点の平均とする | 経験8年以上 | 経験6年以上 8年未満 | 経験4年以上 6年未満 | 経験2年以上 4年未満 | 経験2年未満 |

| | | | | | | |
|-----------|---|-----------|------------|--------|------------|------------------------|
| 法人のサポート体制 | 法人としてのサポート力、マネジメント手法及び相談員への支援について (様式3) | 非常に効果的な内容 | 効果的な内容 | 平均的な内容 | やや乏しい内容 | 指定した項目は網羅されておらず、内容が乏しい |
| | 欠員（長期休暇や離職・人事異動等）の不測の事態への対応について (様式5) ※本評価については基準点を2倍し、配点する。 | 非常に効果的な内容 | 効果的な内容 | 平均的な内容 | やや乏しい内容 | 指定した項目は網羅されておらず、内容が乏しい |
| 事業の実施場所 | 障がいのある方が利用しやすい環境にあるか。 (様式4) 1(2) ※以下3点を総合的に判断 ・周辺の公共交通機関の利便性 ・道は平坦であるか ・車イスで通えるか | 利用しやすい環境 | やや利用しやすい環境 | 平均的な環境 | やや利用しづらい環境 | 利用しづらい環境 |